研 究 標 本 館

農業環境技術研究所・標本シリーズ9：宗林正人コレクション

NIAES Collection Series 9: Masato Sorin Collection

中谷至伸*・吉武　啓*・吉松慎一*・宮崎昌久**

Yukinobu Nakatani, Hiraku Yoshitake, Shin-ichi Yoshimatsu and Masahisa Miyazaki

1．はじめに

皇學館大学で長年教鞭を執ってこられた同大学名誉教授の宗林正人先生（1926年ー）は、国内外でも広く知られたアブラムシ類の研究者で、アブラムシ類の生態学および分類学について数多くの論文を執筆されるとともに、「日本のアブラムシ」（1983年ニュー・サイエンス社）や「農業害虫大事典」（2003年全国農村教育協会：執筆分担）といった書籍を執筆されるなど、一般向けの教育・啓蒙活動にも取り組んでこられた。宗林先生が研究材料として収集された標本のうち、プレパラート約8,000枚、およそ550種の標本が、2001年9月にフランス国立自然史博物館へ寄贈された。

日本国内で収集された標本コレクションの国外への流出が、日本の研究者にとって研究推進上のハンディキャップになることはこれまでも指摘されており（吉松ほか，2011など）、宗林先生の標本についても、その多くが欧州にあることは、我が国の研究者にとっては残念なことではあるが、一方で幸いなことに、フランス国立自然史博物館へ寄贈された標本以外にもかなりの数の標本が先生の手元に残されており、それらの標本がこの度、農業環境技術研究所（以下農環研）の昆虫標本館に寄贈された（図１）。

図１　宗林コレクションの収蔵状況

*農業環境インベントリーセンター，**名誉研究員

Natural Resources Inventory Center,　Honorary Fellow

インベントリー，第１０号，p57-59（2012）

2．コレクションの概要

この度、農環研標本館へ寄贈されたアブラムシ標本は627種、プレパラート4,341枚に及び、40種のタイプ標本（シンタイプを含む）や57種のパラタイプが含まれている（図2）。アブラムシの標本の場合、一枚のプレパラートに複数個体をマウントすることはしばしば行われることから、実際の標本個体数はもっと多くなる。これらのプレパラートは47箱のプレパラートボックスに収納されており、大半は種まで同定されている。また、種名、採集データ、寄主情報が記入された詳細な標本リストが添付されていることから、標本へのアクセスが極めて良好であるばかりでなく、データベースとしての速やかな活用が可能と思われる。これらのコレクションは、宗林先生が現在ご在住の三重県やかつてお住まいだった大阪府を中心に、日本各地から採集された標本で構成されており、中でも、神聖な場所であることから通常では採集が許可されない伊勢神宮内の標本が多数含まれており、非常に貴重なコレクションといえる。

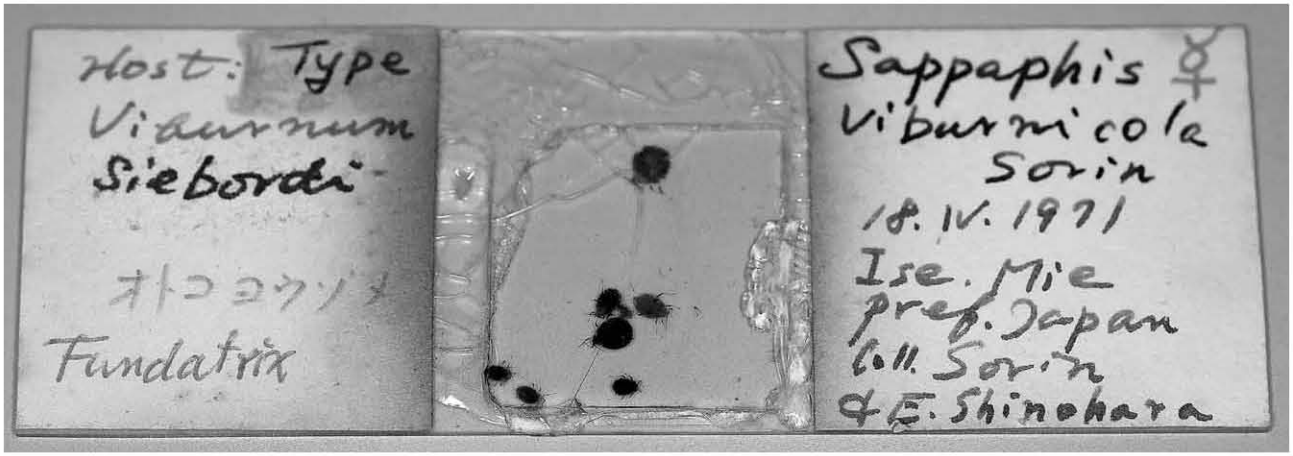

図2　宗林コレクション、アブラムシタイプ標本の一例

3．標本管理と今後の利活用について

我が国だけでもおよそ200種の害虫が含まれるアブラムシ科昆虫（応用動物昆虫学会編, 2006）は、微細な形態的特徴を観察する必要があり、また複雑な生活史を持つものが多い（宗林、1983）ことから、専門家以外では同定が非常に困難なグループである。40種のタイプ標本を含む600種以上の同定標本が収蔵されていることで、参照標本としての利用価値は非常に高い。

今後は、これらのコレクションの有効活用を促進するため、データベース化を進め、昆虫インベントリーシステム（http://insect.niaes.affrc.go.jp/）に登録していきたい。本コレクションにおいては、種名や採集データおよび寄主情報などを含んだ詳細な標本リストがすでに宗林先生により作成されていることから、標本画像を追加取得することで、有用なデータベースとして比較的速やかに公開したいと考えている。また、昆虫インベントリーシステムは寄主寄生関係といった分類群間の種間関係を相互に関連付けられる構造になっていることから、アブラムシのように寄主植物と密に関連したグループにおいてはデータベースとしてさらに有効に活用できるものと考えている。

引用文献

１）吉松慎一・中谷至伸・吉武　啓（2011）：農業環境技術研究所・標本シリーズ8：井上寛コレクション，インベントリー，(9)：55-56.

２）日本応用動物昆虫学会編（2006）：農林有害動物・昆虫名鑑．増補改訂版，387pp.，日本応用動物学会，東京.

３）宗林正人（1983）：グリーンブックス101 日本のアブラムシ，118pp.，ニューサイエンス社，東京.

問い合わせ先

農業環境インベントリーセンター　中谷至伸

電話：029-838-8348，E-mail：nakatany@affrc.go.jp